

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<研究課題名>

光干渉断層計で観察した冠動脈プラークへのフラクタル解析を用いた新技術の開発

<研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 循環器内科 (研究責任者) 盛川 智之

<研究期間>

承認日 ~ 西暦 2021年 3月 31日

<研究の目的と意義>

急性心筋梗塞や不安定狭心症などの病気は、心臓の周りの血管(冠動脈)のプラークと呼ばれる脂質の塊が破綻することによって引き起こされることが知られています。破綻しやすいプラークの特徴として、マクロファージなどの炎症細胞が存在すること、プラークを覆う膜が薄いこと、プラーク内部の脂質の体積が大きいことなどがあげられ、そのようなプラークは不安定プラークと呼ばれています。光干渉断層計は冠動脈のプラークを画像で評価するための装置で、血管内超音波よりもより細かく評価することができます。不安定プラークを識別するための解析法については向上の余地が残されています。近年、フラクタル解析という画像の複雑さを数値で表すことのできる解析手法が他の分野で報告されており、この研究では光干渉断層計で観察した冠動脈プラークの画像へフラクタル解析を用いることにより不安定プラークを特定する新たな指標を発見することを目的としています。この研究によりいままでの冠動脈プラーク解析では分からなかった不安定プラークが識別され、冠動脈プラーク破綻のメカニズムの解明、新たな治療に貢献する可能性があります。

<利用する試料・情報の項目>

病歴などの診療記録、血液検査所見、冠動脈造影検査所見、光干渉断層計所見などの情報を電子カルテから収集します。

<対象となる患者さん>

2014年2月から2020年3月までに日本大学医学部附属板橋病院循環器内科にて経皮的冠動脈インターベンションを施行した虚血性心疾患の患者のうち、光干渉断層計を施行した方が対象となります。

<研究の方法>

光干渉断層計から得られた画像にフラクタル解析ソフトウェアを使用して画像の複雑さの数値を算出し、不安定プラークとの関係を検討します。

<お問い合わせ窓口>

日本大学医学部附属板橋病院(東京都板橋区大谷口上町 30-1)

循環器内科 氏名:盛川 智之

電話:03-3972-8111 内線:(医局)2412 (PHS)8393